

報道関係者 各位

放送批評懇談会

**発表！2024年8月度ギャラクシー賞月間賞**

放送批評懇談会が日本の放送文化の質的な向上を願い、テレビ、ラジオの番組、関係者を顕彰する「ギャラクシー賞」。ことしで62年の歴史を誇ります。

ギャラクシー賞テレビ部門では、「ギャラクシー賞」活動の一環として、毎月、自主的に番組を推奨する「月間賞」を選定しております。今月の月間賞を別紙のとおり発表いたしますので、貴媒体でお取り扱いのほどお願い申し上げます。

ギャラクシー賞テレビ部門は、この日常視聴に基づく「月間賞」と、各社からの応募作品を併せて審査を重ね、毎年の受賞作を決定いたします。2025年5月下旬開催予定の贈賞式にて、大賞をはじめとする各賞が決定、表彰されます。

今後の選考にもご注目いただければ幸いです。

●放送批評懇談会について：1963年の発足以来、評論家、ジャーナリスト、マスコミ研究者などを会員に、各種の活動を展開しております。放送の専門誌・月刊「GALAC（ぎやらく）」の編集・発行、優れた番組・CMを顕彰する「ギャラクシー賞」の選考・運営、メディア界の動きを解説するセミナーやシンポジウムの開催などを行なっています。

●過去の受賞作をお探しの場合は「ギャラクシー賞データベース（<https://houkon.jp/galaxy-database/>）」をご活用ください（掲載内容：作品名、放送局・制作社名、制作者、出演者、受賞理由など）。

放送批評懇談会

ASSOCIATION OF BROADCAST CRITICS

Facebook



X (旧Twitter)



Instagram



<お問い合わせ先>

NPO法人 放送批評懇談会／担当：福島
〒160-0022 新宿区新宿 5-10-14 中村ビル 2F
Tel：03-5379-5521 Fax：03-5379-5510
kondankai@houkon.jp <https://www.houkon.jp/>

放送批評懇談会



2024年8月度ギャラクシー賞月間賞

サンバリュ「クイズタイムリープ」

8月11日放送 14:00~15:00 日本テレビ放送網

かつての名作クイズ番組に現代のタレントが“タイムリープ”して挑戦するという発想が面白い上、それを実現させる最新技術もすごい。テレビ最大の武器であるアーカイブを活用し、ただ番組を見るだけでなく参加することにより臨場感のあるものとし、新しさと懐かしさが同時に味わえる意義ある試みだった。

特集ドラマ「昔はおれと同年だった田中さんとの友情」

8月15日放送 22:00~23:15 日本放送協会

戦争の悲劇、不条理を次代に語り継いでいくことが次第に難しくなり、風化が懸念されつつある現在において、これを絵空事でなく今の時代に地続きのものとして示していく、という意味で良く練られたドラマ。子どもたちと田中さんの交情風景にはやや不自然な部分もないではないが、こういった試みは今後さらに重要になるだろう。

NHKスペシャル「グランパの戦争～従軍写真家が遺した1千枚～」

8月16日放送 22:30~23:20 日本放送協会

オランダの写真家・マリアン・イングルビーの祖父で従軍写真家だったブルース・エルカスが私的に残していたため検閲を免れた膨大な写真は、硫黄島で数々の損壊した遺体や頭蓋骨等を写し取っていて生々しい戦争の状況を伝えるとともに、占領下の日本で進駐軍向けにむしろ日本政府が積極的に開設したという慰安施設の内部の記録としても貴重である。

NHKスペシャル「“一億特攻”への道～隊員4000人 生と死の記録～」

8月17日放送 21:00~22:15 日本放送協会 NHKエンタープライズ

「一撃講和」などという夢に足を取られた軍及び国の幹部たちの愚があったとは言え、国民の底深い熱気なくしては「特攻」などという狂気が成立することはあり得なかった、との解析には苦く頷かされる。その指摘は十分に重い、ただそこにはそれを可能にした国家の情報統制、それに従ったメディアの罪があることを忘れてはなるまい。

★詳細は月刊誌「GALAC」2024年11月号に掲載します